



3 21 落語会 しろさと寄席が 開催されました

コミュニティセンター城里において、落語会 しろさと寄席が開催されました。

「突撃！隣の晩ごはん」でおなじみの桂米助さん、テレビやドラマでも活躍中の林家正蔵さん、林家三平さんが出演され、次々と繰り広げられる落語家ならではの軽快な語り口と、その世界観に引き込まれる話の内容に、会場中が笑いに包まれていました。



▲桂 米助さん



▲林家 正蔵さん



▲林家 三平さん



3 24 消毒業務等の協力に関する 協定を締結しました

一般社団法人茨城県ペストコントロール協会と「災害発生・感染症等流行時における消毒業務等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定により、施設の消毒業務等を円滑に実施できるようになりました。



叙勲受章 おめでとうございます

高齢者叙勲／旭日単光章【地方自治功労】

園 部 静 さん(上入野)

園部さんは、昭和63年に常北町議会議員に初当選。昭和63年1月から平成16年1月までの4期16年間にわたり常北町議会議員を務め、地方自治発展のために尽力されました。また、4期にわたる任期中に、常北町議会議長および副議長としても活躍されました。

園部さんは、「受賞できたこと、大変うれしく思います。城里町のより一層の発展を心から願っています。」と受章の喜びを語ってくれました。



高齢者叙勲／旭日単光章【地方自治功労】

阿久津 尚 一 さん(塩子)

阿久津さんは、平成7年に七会村議会議員に初当選。平成7年4月から平成22年3月までの15年間にわたり七会村議会議員および城里町議会議員を務め、地方自治発展のために尽力されました。また、任期中には、七会村議会副議長および城里町議会副議長としても活躍されました。

阿久津さんは、「受賞できたのも、皆さまのご支援、ご協力のおかげです。感謝しかありません。ありがたい。」と感謝の気持ちを話されました。



町内にお住まいの叙勲受章者の方で、広報紙へ掲載のご了解をいただける方は、下記までご連絡ください。

連絡先 まちづくり戦略課 ☎029-288-3111(内線203)

3 29 黒澤止幾生誕二百周年記念 事業実行委員会が町へ寄付

黒澤止幾生誕二百周年記念事業実行委員会(代表山崎洋一さん)から、代理として細谷光徳さんが来庁され、寄付金250,270円の目録を町長に手渡しました。

寄付金は、黒澤止幾の顕彰および生家の保存・整備・活用を目的として寄付されたものです。城里町黒澤止幾基金に積み立て、目的に沿った事業に活用させていただきます。



3 26 常陽銀行が新入生に 防犯ブザーを寄贈

株式会社 常陽銀行(笹島律夫 取締役頭取)から、防犯ブザー110個が寄贈されました。

同行では、地域貢献活動の一環として、県内の新入学児童全員に防犯ブザーを寄贈する取り組みを、平成17年より行っています。

寄贈された防犯ブザーは、入学式の日には各小学校で新入生に配付されました。寄贈された防犯ブザーは、児童の防犯対策に活用されています。



▲左：須藤祐一 石塚支店長

4 20 町村会民間自治功労者表彰

例年、茨城県市町村会館において、茨城県町村会が主催する「令和2年度 町村会自治功労者表彰式」は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。本町では、富永幸男さん(磯野)と代々木英夫さん(下古内)が、茨城県町村会長より民間自治功労者として表彰されました。

富永さんは、民間企業の要職を退いた平成24年、地元の推薦により農業委員会の委員に就任。農地の権利調整、優良農地の確保、営農活動の改善など、諸問題の解決に意欲的に取り組み、平成30年から令和3年1月に退任されるまでの2期4年間は、農業委員会制度改革後初の会長として、農地行政の適正な執行と町の農業復興・発展に寄与されました。なお、平成13年から10期、約20年間、保護司として献身的に更生保護活動にあたり、現在もお現役で活躍されているなど、多方面において、社会をより良い方向へ導くために大きく貢献されました。

代々木さんは、平成17年1月に城里町の前身にあたる常北町役場を定年退職後、同年4月に下古内一区長に就任。以来、7期14年にわたり地域コミュニティ活動に取り組み、古内地区全体の住みよい地域社会づくりに邁進されました。また、平成24年、農業委員会の委員に就任し、優良農地の確保や耕作放棄地の調査・解消などの問題解決に取り組みました。平成27年2月からの2年間は、会長職務代理として、その後令和3年1月に退任されるまで、町の農業復興と発展に多大な功績を残されました。



▲富永 幸男さん



▲代々木 英夫さん

役場本庁舎の郵便ポストが 水戸ホーリーホックとホロルの デザインに変わりました！

ホームタウン推進協議会事業として、町の認知度向上と水戸ホーリーホックを応援するため、役場本庁舎の郵便ポストがラッピングされました。



◆月刊◆

アツマーレ



月刊アツマーレでは、アツマーレでのイベント情報などをお知らせします。

アツマーレのグラウンドは、町民団体も利用することができます。

3月には、常北中学校と桂中学校のサッカー部が利用しました。天然芝のグラウンドを活用して、地元の中生たちが全力で練習に取り組んでいます。



問合せ 七会町民センター ☎0296-88-3111